

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1174300481		
法人名	有限会社 まごころ		
事業所名	グループホームまごころ		
所在地	埼玉県本庄市西富田653-1		
自己評価作成日	平成 26年 8月 2日	評価結果市町村受理日	平成26年 10月 1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/11/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigvoCd=1174300481-00&PrefCd=11&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社プログレ総合研究所		
所在地	埼玉県さいたま市大宮区大門町3-88 逸見ビル2階		
訪問調査日	平成 26年 9月 4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居されている方々の気持ちに寄り添いご本人とご家族の望まれている暮らしに近づけるよう日々支援していきます。 安全に安心して生活して頂けるよう明るくゆったりとした空間づくりに努めています。 AEDの設置・講習もあり緊急時に対応できるようにしています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>外に看板がなく、和風の趣のある建物である。ご近所とは大変親しい関係であり、季節の野菜などを頂くこともある。また、近くのケーブルテレビ局との交流もあり、職員が時折事業所に訪ねて来てくれる。ここは、夜中の12時頃まで社員がいるため、夜間でも、非常時には協力をお願いできることになっており、災害時対応の心強い支援となっている。口からの食事を大切に考えており、スプーン1杯からでも食べてもらえるよう工夫している。調理師が作る食事は見た目、味、共に楽しめるよう手間をかけたものであり、利用者の楽しみの一つになっている。おすそ分けでいただいたジャガイモに塩を振っておやつに食べることで、昔懐かしい思い出にひたることもあった。葬式の時に息子さんが、グループホームでの食事について話されたことから、食事が利用者、家族に満足されていることが伺える。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念は常に掲げてあり、いつでも誰でも確認できます。新人研修なども改めて見直し実践している。	毎月1回、職員会議で、「その人を尊重した暮らしをどうするか」について話し合ってる。日々振り返りながらケアを行っている。新人が入社した際は、その都度先輩が理念について指導している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方との関係は良好であり、いつも畑の作物などを頂き、皆様と一緒に食べています。地域の納涼祭には毎年参加させて頂いています。	近所にあるケーブルテレビ局には社員が夜遅くまでおり、困った時など声を掛けられる関係となっている。近所の方々との関係も良好で、ネギ、大根、ジャガイモ、ナスなどを頂く。自治会から傾聴ボランティアも来てくれる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	傾聴ボランティアの方や慰問の催しに来て下さる方々といういろいろお話し、理解して頂いています。見学等もいつでも受けております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は自治会長、近隣の方、ご家族の参加をお願いしています。皆様よりご意見、ご要望をお聞きし、改めるべきところなど話し合いを行なっています。	年6回開催される。近隣の方、家族、自治会長と民生委員、市役所介護生きがい課、地域包括の方が参加される。昨年は、傾聴ボランティアと実習生も参加し活発な意見が交わされた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者は必ず運営推進会議には参加して下さっています。相談等にもって頂いております。	市役所の介護生きがい課や福祉課の人にオムツの請求書を持って行ったり、意見を頂いている。又入居者情報を提供し、市のホームページに掲載してもらおう等、その都度連絡を密に行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠についてはご家族の理解と了承を頂いております。身体拘束は一切行われることはなく、研修等でも確認理解しています。	居室には鍵がない。虐待について毎年1回研修を行なっている。身体、言葉の虐待については、特に気を付けており、どんな言葉が虐待にあたるか、利用者の見えない所に貼り紙をし、職員全員に周知している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法については理解を得るため、施設内研修を実施しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を充分理解していないと思う。また、制度を活用されている方がいないため、研修等で勉強し理解深めていきたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にはゆっくり、理解して頂けるよう充分説明を行なっている。質問等にもきちんと答えるように努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用料の支払い時、面会時にはよくお話をさせて頂いています。また、ご要望や心配事をお聞きし、職員間で話し合いをしている。	面会時に心配事や要望等話を伺い、職員間で話し合い、ケアに反映させるよう努めている。アンケートでは、職員の親身な対応に家族の満足度が高かった。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議に於いて自由に意見を訴える場を設けている。管理者は代表者に職員の要望を伝える役目を行なっている。	月1回ユニットそれぞれの会議を行い、意見が出されている。管理者は職員が意見を出しやすい環境作りに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	外部への研修参加を推奨し、費用負担を行なっている。資格取得に協力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修に取り組んでいる。外部への研修にも推奨している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会会員として支部会、研修会に参加交流を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談時には情報を頂き、必ずご本人とお会いし、お話をさせて頂いております。それが信頼関係の一步と考えています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困ってること不満・要望をお聞きし、不安を軽減できるようにわかりやすい説明を行ない、ご要望に応えられるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族のニーズを捉え、適切な支援を行なえるよう努めています。また、希望や必要に応じほかのサービスも紹介しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人ひとりの状況の把握に努め、その方に合った対応を行ない、出来ることはして頂き、やりがい・役割を持って頂けるよう支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の要望等、家族に伝え毎月の様子、状況を月次で報告しています。相談を受けたり、こちらから相談したり本人にとっての良い暮らしについて話し合っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの美容院に行かれる方、今までの病院に通院する方などいます。親族でなくても旧知の知人の方もお顔を見に来たと気軽に来訪して下さいます。	近隣の方や友人が利用者を訪ねて気軽に事業所へ来てくれる。馴染みの美容院やかかりつけ医に家族と一緒にいられる方がいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの思いを受け止め、入居者間の円滑な関係を保っていただけるように全職員が心がけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居時には家族と連携をとり、お見舞いにも行き状況を把握している。退居後の相談等にも出来る限りの支援を行なっています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや希望に少しでも近づけるようケアに臨んでいます。利用者の毎日の暮らしの中での変化に気付けるよう努めています。	言葉での表現が難しい利用者に対しては、その人だったらどう思うかを大事に考え、できるだけ希望に沿うように対応している。コミュニケーションをとるために、ホワイトボードでのやりとりも取り入れている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らし、生きて来られた様を把握し、情報共有して利用者により良い生活を送って頂けるよう支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活習慣、リズムを大切にしながら本人の望まれる生活に少しでも近づいて頂けるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日比のケアにあたっている職員間で気付いたことを話し合い、より良い生活のためのカンファレンスを行い、介護計画を作成している。	その方に合ったカンファレンスを行い、目標をたて、半年ごとに管理者とケアマネジャーが見直している。会議の時や申し送りノートで共有出来る様にしている。気付いたことは、その都度毎月の会議で伝えている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個人の生活記録にはバイタル・食事量・水分量・排泄など記録を行ない、情報を共有しながら申し送り等で体調変化に気づき対応できるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者一人一人の要望やご家族の要望にも出来る限り応えらえるよう努めている。希望される美容院、買い物等対応を行なっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的に来訪される傾聴ボランティアの方や演奏会の実施など楽しんで頂けるよう努めている。また、毎年地域の納涼祭にご招待受け参加している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の定期的な往診を受けている。ご家族とかかりつけ医を受診されている方もいる。先生の指示により他科を受診する場合もある。訪問歯科・訪問リハビリを受けている方もいる。	内科は月2回の往診、歯科は週1回希望者が受診している。外部のかかりつけがある方は、基本家族対応だが、場合により、職員が同行している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医の定期的な往診を受けている。ご家族とかかりつけ医を受診されている方もいる。先生の指示により他科を受診する場合もある。訪問歯科・訪問リハビリを受けている方もいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供を行ない、看護師や相談員と連携をし、早期退院に向け相談、支援を行なっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人やご家族の意向を踏まえ、ご家族・意志と連携しながら事業所としてできる限りの対応をしている。	契約時に、重度化した場合における指針を提示し、必要に応じてその都度説明している。家族の希望に出来る限り応じられるように、連携をとっている。急変時対応のマニュアルやAEDがあり、救急車が来るまで実際にAEDを使用したこともある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	普通救命講習を修了している職員が多くいる。AEDの使用方法も再度講習を行なった。施設内研修に於いて急変時の対応について勉強している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は消防署・近隣の方立ち合いのもと行なっている。昼間、夜間と想定を変え対応できるよう訓練している。	年2回消防署立ち会いのもと近隣の方、職員、自治会長、ケーブルテレビの方も参加され、水消火器を使用し訓練を行なった。日中と夜間を想定し行っている。	夜間想定で職員と利用者役1対1の避難誘導で対応できるよう訓練を計画している。実際に経験することで職員の知識、意識がさらに向上することを期待する。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりに合わせた対応を心がけています。入浴介助等、同性介助を希望の方にはそのように対応しています。失禁ではなく、失敗ととらえ言葉がけにも十分配慮しています。	トイレ誘導は一人ひとりに合った時間で行い、失敗がないように配慮している。入浴の際は、同性介助を希望される方の要望も受け入れ、尊厳を大切にしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の方のお話にはゆっくり耳を傾け聴くように努めています。言葉でうまく表現できない方などは思いを気付けるよう心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方のペースを尊重し、時間を急ぐことなく、入浴、食事をされています。皆様、ご自分のペースでレクリエーションなどにも参加されています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問カットを受けられています。いきつけの美容院に行かれる方もおります。ご自身の好みの服を選んで着用されています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	皆様、食事を楽しみにされています。温かいものは温かく、季節のものを使い、おいしく召し上がって頂けるようにしています。行事・誕生会などはお好きなものをお出しするよう努めています。	食事は調理師がその人に合わせて作っている。品数が多く上品な味付けで好評である。メニューは職員が1週間分を考える。おやつには、近隣の方から頂いたジャガイモ等を食べる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの良い食事メニューに努めています。食の細かい方には工夫し、お好きなものを添えたり、その方に合った対応をしています。水分量も記録し、ゼリーをお出ししたりしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、その方に合った方法でケアしています。見守り、全介助、半介助となります。訪問歯科の口腔ケアを受けている方もおります。義歯は定期的に預かり消毒を行ない、清潔保持に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、その方に合った対応を実施しています。	メーカーからオムツの講習会を実施してもらい、無駄にならない使い方の講習を受け、負担が減るよう考えている。尿意無いと言われていた人が、オムツからリハビリパンツ、トイレでの排尿ができるようになった。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を確認し、ここに合った対応を行なっています。水分補給や食事にも気をつけ自然に排泄できるように努めていますが、主治医の薬を服用され、調節している方もいらっしゃいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴が大好きな方が多くいらっしゃいます。一人ずつゆっくりと入浴をされています。その方に合った介助、見守りを行ない、気持ちよく入浴して頂いています。	入浴は朝10時頃から、15時頃まで入浴して頂いている。入居者同士、重ならないようにしている。希望の方には、同性介助をしている。入浴剤など一緒に買い物に出かけることもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	皆様ご自分のペースで居室で休まれています。その方に合った介助、見守りを行ない気持ちよく入浴して頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬情ファイルによりいつでも確認することが出来ます。体調不良時には協力医、看護師の協力のもと対応しています。誤薬、飲み忘れないよう職員全員気を付けて対応を行なっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴を把握し、その方に合った役割お手伝いをお願いしています。レクリエーションもいろいろなものを提供し、楽しく過ごして頂けるよう工夫しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	高齢化が進み、散歩なども難しくなっています。お花見などもドライブという形で行いました。お元気な方には買い物に同行して頂いたり、お祭り等出かけています。ご家族と日帰り温泉や外食に出掛けられる方もいます。	歩いて散歩に行ける人は少なくなっている。天気が良い日には、車椅子を押しながら職員と散歩に行った。近くの衣料品店には、職員と一緒に買い物に行く。家族と日帰り温泉、法事、外食などに行かれる利用者もいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いとしてご家族からお預かりしたお金は事務所に管理しています。ご本人の希望で買い物をする際、使用しています。ご本人の希望で買い物をする際、使用しております。また、お金を持っていたいと小学を財布に入れて持っている方もおります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話など希望されれば対応しています。家族の声を聴かれると心穏やかにいただけます。年賀状、暑中見舞いなど毎年出されています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔を心がけて毎日を送っています。安全のための配慮にも努めております。皆様が過ごすホールは明るく季節を感じて頂けるように努めています。	玄関を通り、リビングに続く長い廊下には、絵画や書道の額が飾られ、旅館のような趣きがある。リビングは、天窓があり日当たりがとても良い。天気の良い日には、広いベランダでお茶など楽しんでいる。窓から見える木々や草花から、四季折々の変化を楽しめる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	温度、湿度にも留意しています。ご自分の好きな場所で自由に過ごして頂くよう支援しています。居心地の良い空間づくりに努めています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者のお好きなものを持ってきて頂き配置しています。危険の無いよう配慮しております。	自宅で使い慣れたタンス、テレビ、仏壇、こたつ等持ち込んで頂いている。配置は、職員と一緒に安全を考慮して本人の居心地が良いよう配慮している。居室には簡単なカギを安心の為に掛けている利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアバリアフリーとなっており、廊下、浴室トイレを十分な広さがあり、ゆったり安全に生活して頂けるよう配慮しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念は常に掲げてあり、いつでも誰でも確認できます。新人研修なども改めて見直し実践している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方との関係は良好であり、いつも畑の作物などを頂き、皆様と一緒に食べています。地域の納涼祭には毎年参加させて頂いています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	傾聴ボランティアの方や慰問の催しに来て下さる方々といういろいろお話し、理解して頂いています。見学等もいつでも受けております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は自治会長、近隣の方、ご家族の参加をお願いしています。皆様よりご意見、ご要望をお聞きし、改めるべきところなど話し合いを行なっています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者は必ず運営推進会議には参加して下さっています。相談等にものって頂いております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠についてはご家族の理解と了承を頂いております。身体拘束は一切行われることはなく、研修等でも確認理解しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法については理解を得るため、施設内研修を実施しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を充分理解していないと思う。また、制度を活用されている方がいないため、研修等で勉強し理解深めていきたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にはゆっくり、理解して頂けるよう充分説明を行なっている。質問等にもきちんと答えるように努めています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用料の支払い時、面会時にはよくお話をさせて頂いています。また、ご要望や心配事をお聞きし、職員間で話し合いをしている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議に於いて自由に意見を訴える場を設けている。管理者は代表者に職員の要望を伝える役目を行なっている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	外部への研修参加を推奨し、費用負担を行なっている。資格取得に協力している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内研修に取り組んでいる。外部への研修にも推奨している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会会員として支部会、研修会に参加交流を図っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居相談時には情報を頂き、必ずご本人とお会いし、お話をさせて頂いております。それが信頼関係の一步と考えています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困ってること不満・要望をお聞きし、不安を軽減できるようにわかりやすい説明を行ない、ご要望に応えられるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族のニーズを捉え、適切な支援を行なえるよう努めています。また、希望や必要に応じほかのサービスも紹介しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人ひとりの状況の把握に努め、その方に合った対応を行ない、出来ることはして頂き、やりがい・役割を持って頂けるよう支援しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族の心配や要望をお聞きし、話し合っています。出来る限り一人ひとりの状態に合ったケアを行なうことを心がけています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親族でない知人の方が定期的に訪れて下さり、いろいろとお話され、良い時間を過ごされております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの思いを受け止め、入居者間の円滑な関係を保つていけるように全職員が心がけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居時には家族と連携をとり、お見舞いにも行き状況を把握している。退居後の相談等にも出来る限りの支援を行なっています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや希望に少しでも近づけるようケアに臨んでいます。利用者の毎日の暮らしの中での変化に気付けるよう努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らし、生きて来られた様を把握し、情報共有して利用者により良い生活を送って頂けるよう支援しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活習慣、リズムを大切にしながら本人の望まれる生活に少しでも近づいて頂けるよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日比のケアにあたっている職員間で気付いたことを話し合い、より良い生活のためのカンファレンスを行い、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌や個人の生活記録にはバイタル・食事量・水分量・排泄など記録を行ない、情報を共有しながら申し送り等で体調変化に気づき対応できるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者一人一人の要望やご家族の要望にもできる限り応えらえるよう努めている。希望される美容院、買い物等対応を行なっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的に来訪される傾聴ボランティアの方や演奏会の実施など楽しんで頂けるよう努めている。また、毎年地域の納涼祭にご招待受け参加している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医の定期的な往診を受けている。ご家族とかかりつけ医を受診されている方もいる。先生の指示により他科を受診する場合もある。訪問歯科・訪問リハビリを受けている方もいる。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医の定期的な往診を受けている。ご家族とかかりつけ医を受診されている方もいる。先生の指示により他科を受診する場合もある。訪問歯科・訪問リハビリを受けている方もいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供を行ない、看護師や相談員と連携をし、早期退院に向け相談、支援を行なっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人やご家族の意向を踏まえ、ご家族・意志と連携しながら事業所としてできる限りの対応をしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	普通救命講習を修了している職員が多くいる。AEDの使用方も再度講習を行なった。施設内研修に於いて急変時の対応について勉強している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は消防署・近隣の方立ち合いのもと行なっている。昼間、夜間と想定を変え対応できるよう訓練している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりに合わせた対応を心がけています。入浴介助等、同性介助を希望の方にはそのように対応しています。失禁ではなく、失敗ととらえ言葉かけにも十分配慮しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の方のお話にはゆっくり耳を傾け聴くように努めています。言葉でうまく表現できない方などは思いを気付けるよう心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方のペースを尊重し、時間を急ぐことなく、入浴、食事をされています。皆様、ご自分のペースでレクリエーションなどにも参加されています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問カットを受けられています。いきつけの美容院に行かれる方もおります。ご自身の好みの服を選んで着用されています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皆様、食事を楽しみにされています。温かいものは温かく、季節のものを使い、おいしく召し上がって頂けるようにしています。行事・誕生会などはお好きなものをお出しするよう努めています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事が落ちている方や嫌いなものがある時には個々の好きなものを追加したり、メニューの変更なども工夫してお出ししています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、その方に合った方法でケアしています。見守り、全介助、半介助となります。訪問歯科の口腔ケアを受けている方もおります。義歯は定期的に預かり消毒を行ない、清潔保持に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、その方に合った対応を実施しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々で状況が異なるため、服薬等もその方に合わせて処方して頂き、状況に応じ飲んで頂いています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴が大好きな方が多くいらっしゃいます。一人ずつゆっくりと入浴をされています。その方に合った介助、見守りを行ない、気持ちよく入浴して頂いています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	皆様ご自分のペースで居室で休まれています。その方に合った介助、見守りを行ない気持ちよく入浴して頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬情ファイルによりいつでも確認することが出来ます。体調不良時には協力医、看護師の協力のもと対応しています。誤薬、飲み忘れないよう職員全員気を付けて対応を行なっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴を把握し、その方に合った役割お手伝いをお願いしています。レクリエーションもいろいろなものを提供し、楽しく過ごして頂けるよう工夫しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	高齢化が進み、散歩なども難しくなっています。お花見などもドライブという形で行いました。お元気な方には買い物に同行して頂いたり、お祭り等出かけています。ご家族と日帰り温泉や外食に出掛けられる方もいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いとしてご家族からお預かりしたお金は事務所にて管理しています。ご本人の希望で買い物をする際、使用しています。ご本人の希望で買い物する際、使用しております。また、お金を持っていたいと小学を財布に入れて持っている方もおります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話など希望されれば対応しています。家族の声を聴かれると心穏やかになられます。年賀状、暑中見舞いなど毎年出されています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔を心がけて毎日を送っています。安全のための配慮にも努めております。皆様が過ごすホールは明るく季節を感じて頂けるように努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	温度、湿度にも留意しています。ご自分の好きな場所で自由に過ごして頂くよう支援しています。居心地の良い空間づくりに努めています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日仏壇に手を合わされる方、居室にて民謡を聞かれる方とその方の好みや使い慣れたタンスなど配置し、一人ひとりのお部屋を確立しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	全フロアーバリアフリーとなっており、廊下、浴室トイレを十分な広さがあり、ゆったり安全に生活して頂けるよう配慮しています。		